

PRESS RELEASE

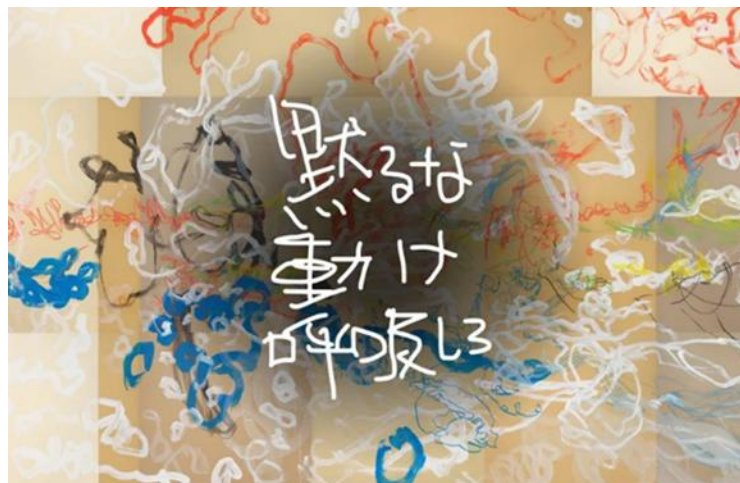
ろう者と聴者が協働制作するオリジナルストーリーの舞台作品

TOKYO FORWARD 2025 文化プログラム

ろう者と聴者が遭遇する舞台作品「黙るな 動け 呼吸しろ」 創作の舞台裏に迫るトークイベントを開催

出演者・スタッフが語る、異なる言葉や文化を持つ者同士の探究の道のり

2025年8月31日(日) 14:00-16:00/会場:東京都美術館 講堂



黙るな 動け 呼吸しろ

黙るなと雲がゆっくりと
誰もが気付かないかのように動き、空に伝えている。

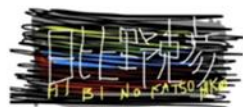
ちぎれては繋がりのまにかいなくなる。
空には雲がよく似合う。

闇夜にも空はあり雲が動いている。

空もいつも動いている。

雲も空も黙ってはいない。

いつも呼吸している。



東京都と公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京は、東京で開催される世界陸上とデフリンピックに向けて展開する3つのアートプロジェクト「TOKYO FORWARD 2025 文化プログラム」の一つとして、“ろう者とろう文化に対する社会的認知”と“ろう者と聴者が互いに共通理解を図ること”を目的とした、ろう者と聴者が遭遇する舞台作品「黙るな 動け 呼吸しろ」を、国立大学法人東京藝術大学と共に創作し、2025年11月29日(土)に東京文化会館大ホールで上演いたします。

本作品は、ろう者にとってのオンガク、聴者にとっての音楽の本質を互いの交流の中で探究し、言葉や文化が異なる両者が遭遇する創作プロセスをベースにしたオリジナルストーリーを、日本手話と日本語によって上演する世界初演の作品です。

この上演に先立ち、作品の創作過程を共有するトークイベントの開催が決定しました。言葉や文化が異なるメンバーによる創作現場では今のようなことが起き、どのように進めているのか。これまでも様々な表現媒体や多様なバックグラウンドを持つ人たちとのコラボレーションの現場に関わってきたメンバーが、自身の経験も交えて語ります。

トーク後半では本作品にとどまらず、今後のろう者と聴者、さらには言葉や文化が異なる多様な人たちによる協働の可能性についても議論をひろげます。さらに、ご来場の皆さまとの質疑応答や意見を交わす時間も予定。スタッフや出演者の言葉を通して創作の裏側を知ること、11月上演の舞台をより一層お楽しみいただけるでしょう。ろう者も聴者も難聴者も、どなたでもぜひご参加ください。(参加無料・要事前申込)。

【取材に関する問合せ】

TOKYO FORWARD 2025 文化プログラム ろう者と聴者が遭遇する舞台作品「黙るな 動け 呼吸しろ」PR事務局
TEL: 03-6869-6654 / FAX: 03-4363-7537 / Email: pr@duk-tokyoforward.jp

【事業に関する問合せ】

公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京 事業調整課 事業調整係

TEL : 03-6256-8435 / FAX : 03-6256-8829 / E-mail : duk-info@artsCouncil-tokyo.jp

【イベント概要】

■イベント名:「ろう者と聴者が遭遇する舞台のつくりかた」

■日時:2025 年 8 月 31 日(日) 14:00-16:00

■会場:東京都美術館 講堂

■登壇者:長島確(ドラマトゥルク)、牧原依里(構成・演出)、雫境(ドラマトゥルク)、中村蓉(ステージング・ディレクター)、佐沢静枝(出演)(予定)

※トークは日本語と日本の手話で実施します。また、情報保障として手話通訳と文字情報保障を実施します。その他、参加にあたってサポートが必要な方は申込フォームにご記入ください。

■参加費:無料(要事前予約)

■定員:200名

■申込方法:Peatix から申し込み。先着順。定員に達し次第受付終了。

<https://duk-event-20250831.peatix.com>

【登壇者プロフィール】



ドラマトゥルク

長島 確 / Kaku Nagashima

舞台字幕や上演台本の翻訳から劇場の仕事に関わり始め、やがて演出家や振付家の創作のパートナーであるドラマトゥルクとしてさまざまな舞台芸術の現場に参加。劇場のアイデアやノウハウを劇場外に持ち出すことに興味をもち、アートプロジェクトにも積極的に取り組む。東京藝術大学大学院国際芸術創造研究科 准教授。



構成・演出

牧原 依里 / Eri Makihara

作品形態は多様で、現象を可視化する装置を提供し、この世界の社会構造を浮かび上がらせる試みを行っている。『LISTEN リッスン』(2016)を雫境と共同監督、文化庁メディア芸術祭審査員推薦。他に『田中家』(2022)、『聴者を演じるということ 序論』(2023)など。恵比寿映像祭 2025 ファイナリスト、博報堂 DY アイ・オー フェロー。(写真撮影:池田宏)



ドラマトゥルク

雫境 / Dakei

ろうの舞踏家。1996 年から 2001 年まで日本ろう者劇団に在籍し、1997 年から舞踏を始め国内外で活動。2000 年にユニット「雫」を結成し、公演やワークショップを展開。映画『わたしの名前は…』や『LISTEN リッスン』に出演・共同監督を務める。2019 年には新ユニット「濃淡(NOUTAN)」を結成。



ステージング・ディレクター

中村 蓉 / Yo Nakamura

早稲田大学在学中にコンテンポラリーダンスを始める。国際芸術祭あいち 2022、シビウ国際演劇祭など国内外で作品を上演。向田邦子、ウィリアム・シェイクスピアなど小説や戯曲を原案にしたダンス作品を多く創作している。近年では東京二期会『セルセ』『デイダミア』の演出・振付を担当。(写真撮影:前澤秀登)



出演

佐沢静枝 / Shizue Sazawa

立教大学日本手話兼任講師。北海道生まれ。日本ろう者劇団に入団し、舞台や映画などに出演。退団後は、特定非営利活動法人しゅわえもんを設立し、手話による絵本読み語り普及のために仲間と奮闘中。NHK ドラマ「デフ・ヴォイス」などに出演。NHK「みんなの手話」出演・手話監修を担当。

【会場アクセス】

東京都美術館

(東京都台東区上野公園8-36)

<https://www.tobikan.jp/guide/>

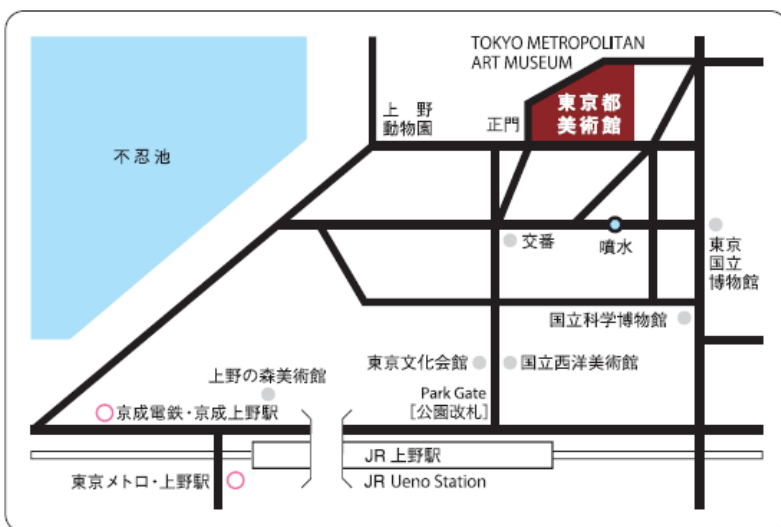
<最寄り駅からの所要時間>

JR上野駅「公園改札」より徒歩7分

東京メトロ銀座線・日比谷線上野駅「7番出口」より徒歩10分

京成電鉄京成上野駅より徒歩10分

※会場には駐車場はありません。車でのご来館の際はご注意ください。



【公演概要】

■作品タイトル:TOKYO FORWARD 2025 文化プログラム

ろう者と聴者が遭遇する舞台作品「黙るな 動け 呼吸しろ」

■公演日時:2025年11月29日(土)15:00

■会場:東京文化会館 大ホール

■チケット:無料(要事前予約) 申込詳細情報は8月末解禁予定

■出演:島地保武 今井彰人 緒方れん 佐沢静枝 横尾友美

五十嵐ゆうや 猪野なごみ 西澤真耶 藤村港平 他

■スタッフ:総合監修 日比野克彦 / 構成・演出 牧原依里 / 演出 島地保武 / ドラマトウルク 零境・長島確 他

主催:東京都、公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京、国立大学法人東京藝術大学

公式サイト:<https://duk-tokyoforward2025.jp/>

公式YouTube :<https://www.youtube.com/@duk-tokyoforward2025>

公式Instagram:https://www.instagram.com/duk_tokyoforward2025/

■「TOKYO FORWARD 2025 文化プログラム」について



世界陸上・デフリンピックが東京で開催される2025年に、東京2020大会のレガシーを継承・発展させて展開する「多様な参加者とつどい・つながり・つくりあげる」3つのアートプロジェクト。「まつり」をテーマとした「TOKYO わっしょい」、ろう者と聴者が遭遇する舞台作品「黙るな 動け 呼吸しろ」、東京2020パラリンピック開会式のレガシーを受け継ぐ新作公演「TRAIN TRAIN TRAIN」を通し、東京の持つ芸術文化の魅力を発信し、共生社会の実現に向けた歩みを進めるとともに、両大会を芸術文化を通じて盛り上げます。

<公式サイト> https://www.seikatubunka.metro.tokyo.lg.jp/bunka/bunka_jigyoku/2025artprogram.html

■「オールウェルカムTOKYO」について



～ 感動と共感が、東京を、未来を、変えていく。みんなでつなげるサポートの輪。～
オールウェルカム TOKYO は、芸術文化を中心に、アクセシビリティ向上に取り組むみなさまとともに、障害の有無や、言語・文化の違いを超えて、もっとだれもが楽しめる東京を目指すキャンペーンです。

<公式サイト> <https://awt.rekibun.or.jp/>